

ギリシャ概況(2018年2月号)

1. 内政

- ・22日 国会で製薬会社 NOVARTIS 社による贈賄疑惑に関する審議及び秘密投票が行われた結果、本疑惑に関与したとされる10名の元閣僚各人を調査対象とする審査委員会設置が決定された。
- ・26日 過去23か月に亘り、市内中心部のアパート借上のため、毎月千ユーロの住居手当を受け取っていたことで非難を浴びたアンドノプル労働・社会保障・社会連帯副大臣(失業対策担当)の辞任が承認された。
- ・27日 「ア」副大臣の夫であるパパディミトリウ経済・開発大臣の辞任が承認された。
- ・同日 マルク無所属議員(元ポタミ)がNDとの協力を表明した。
- ・28日 小規模な内閣改造が実施された。

2. 外政

- ・7～9日 モスコヴィツシ欧州委員(経済・通貨担当)がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、チプラス首相、ツァカロトス財相、イエニマタ民主連合党首、パパディミトリウ経済・開発相、ハリチス経済・開発副大臣及びミツォタキスND党首と会談した。
- ・12～13日 コジラス外相がウィーンを訪問し、ディミトロフ FYROM 外相及びニミッツ FYROM 名称問題国連事務総長特別顧問と会談した。
- ・15～16日 コジラス外相がブルガリアを訪問し、EU 非公式外相会合に出席した。
- ・17日 ミツォタキスND党首が独を訪問し、ミュンヘン安全保障会議に出席した。更に本会合マージンにて、ユルドゥム・トルコ首相、ラヴロフ・ロシア外相及びクルツ・オーストリア首相等と会談した。
- ・21日 カメノス国防相がポーランドを訪問し、ブワシチク国防相、クフチンスキ下院議長、チャプトヴィチ外相及びソロフ国家安全保障局長官と会談した。
- ・22～23日 チプラス首相がブリュッセルを訪問し、非公式 EU 首脳会議に出席した。更に本会合マージンにて、アナスタシアディス・キプロス大統領、メルケル独首相、マクロン仏大統領、ジェンティローニ伊首相、ボリスフ・ブルガリア首相、ユンカー欧州委員会委員長及びモゲリーニ EU 外務・安全保障政策上級代表と会談した。
- ・22～24日 ヒギンズ・アイルランド大統領がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、チプラス首相及びミツォタキスND党首と会談した。
- ・24日 7名の米国上院議員がギリシャを訪問し、チプラス首相と会談した。
- ・26日 コジラス外相がブリュッセルを訪問し、EU 外相会合に出席した。
- ・28日 カメノス国防相がイスラエルを訪問し、リーベルマン国防相と会談した。

3. 移民・難民問題

1月31日 ギリシャに滞在する移民・難民は50,370名(UNHCR発表)。

4. 経済

(1) 対ギリシャ第3次支援プログラム

・26日～3月1日 債権団代表らがギリシャを訪問し、第3次ギリシャ支援プログラムの第4次審査に係る交渉を開始した。

(2) 経済動向

- ・1日 アテネ国際空港ーピレウス港間直行の鉄道の運行が開始された。
- ・6日 ギリシャ商工会議所の会頭にコンスタンティノス・ミハロス氏が再選した。
- ・8日 ギリシャ政府は7年物国債を発行した。イールドは3.5%。
- ・16日 格付け会社フィッチ社がギリシャの信用格付けを「B-」から「B」に引き上げ、見通しを「ポジティブ」とした。
- ・21日 格付け会社ムーディーズがギリシャの信用格付けを「Caa2」から「B3」に2段階引き上げ、見通しを「ポジティブ」とした。

(3) 財政

ギリシャ財務省が2月14日付で公表した1月の財政統計によると、1月の財政収支は16億900万ユーロの黒字、同期間のプライマリーバランスは18億8,300万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は47億8,400万ユーロで政府目標を8億9,100万ユーロ(22.9%増)上回り、歳出は31億7,600万ユーロと政府目標より2億1,500万ユーロ低く抑えられた。

(4) 輸出入

ギリシャ統計局の2月7日付の発表によると、12月の輸入総額は42億1,700万ユーロ(前年同月比6.8%増)、輸出総額は26億1,330万ユーロ(前年同月比12.1%増)となった。

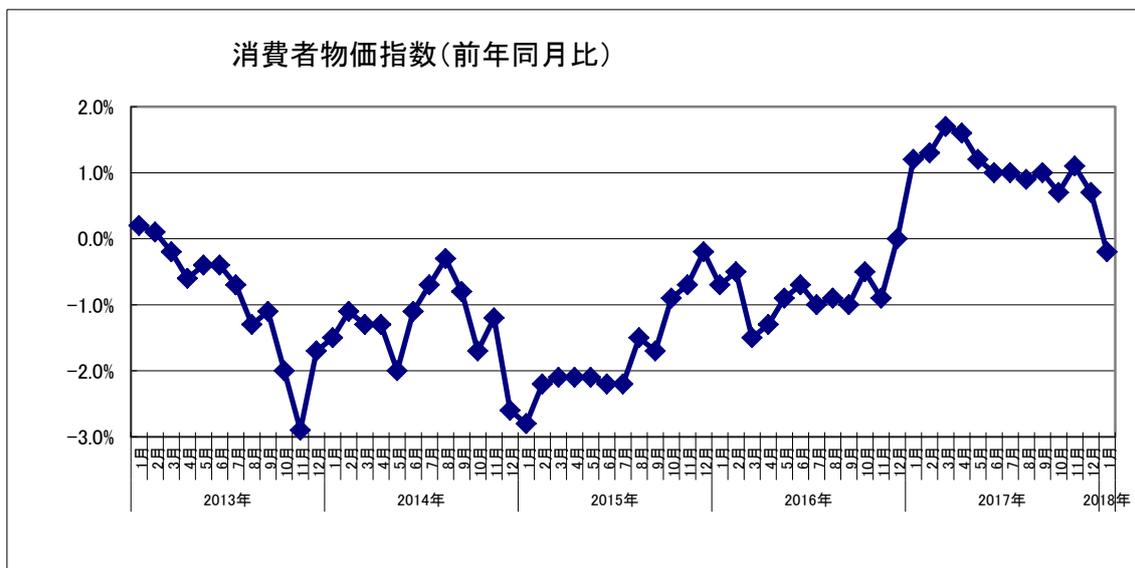
(5) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、12月の観光客は、33万8,203人で、前年同月比5.3%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が23万1,875人で(同9.0%増)で、テサロニキ空港が8万8,786人(同15.3%減)となった。

5. 経済指標

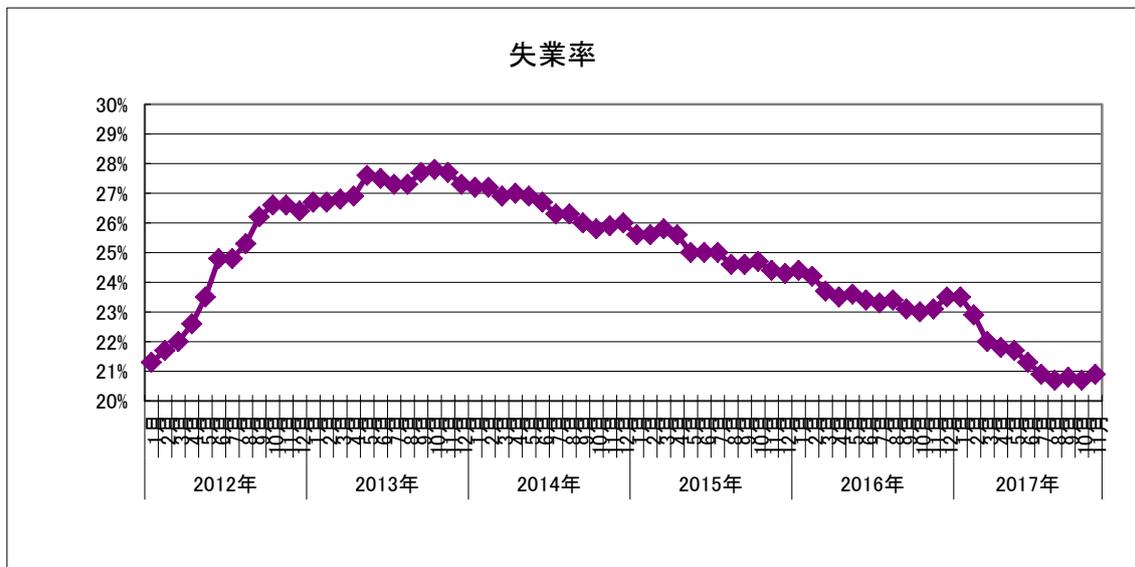
(1) 消費者物価指数

ギリシャ統計局の2月15日付の発表によると、1月の消費者物価指数は前年同月比0.2%減となった。



(2) 失業率

ギリシャ統計局の2月8日付の発表によると、11月の失業率は20.9%となり、前月から変化は生じなかった。



※2017年10月の失業率は、ギリシャ概況(2018年1月)公表後、ギリシャ統計局により20.7%から20.9%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した。

(3) GDP

OECD のデータによると、2017 年第 3 四半期(7 月～9 月)の実質 GDP 成長率は前年同期比プラス 1.3%となった。



※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

※過去のギリシャ概況情報は以下のURLを参照してください。

http://www.gr.emb-japan.go.jp/itpr_ja/greece_general_reports_list.html

(了)